



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第426号 2012年8月5日発行

「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」ペトロは、自分でも何を言っているのか、分からなかったのである。(ルカ福音書9章33節・主イエス変容の日)



1967年(昭和43年)8月に私は広島に行きました。当時大きな反核の団体は、三つ(または二つ)に分裂しており、地方組織も複雑な形態をしていました。

その時、分科会をぬけて、平和公園と原爆資料館を見学しました。記念式典当日朝は暑く、原爆当日を思わせるようでした。

妻が長崎の育ちなので、長

崎の原爆被災者の話を聞き、差別とか偏見とか、割り切れない話を聞きました。

埼玉県の東松山市にある「丸木美術館」に行った時や広島県の研修会でさらに教えられたことがあります。そのころ日本聖公会は深刻な部落差別発言を未解決のまま抱えていました。被爆した時、広島でも部落差別があり、さら

主の栄光を求めて

司祭 ヨハネ 鍋島 守一

に民族差別も起こっていました。

丸木俊さんの「原爆の図」は現在では15部から成り立っている大きな絵画の群れです。15部完成まで、かなり長い期間がかかり、完成した絵画から次々に発表していきました。

アメリカでは絵画「原爆の図」が反発を受けたので、アメリカ人へのメッセージとして「アメリカ人が造った原爆

がアメリカ人を殺した」と伝えようと思いい、調べていく過程で、驚く事実に出会います。当時広島にいたアメリカ人捕虜は原爆で死んだのではなく、日本人によってリンチに近い形で虐殺されたらしいことが分かりました。投下したアメリカ側の人間、原爆投下前にB29などの飛行機で爆撃に来て帰還に失敗した人たち、ア

メリカ人捕虜に憎しみが向けられます。さらに当時広島で被爆死した韓国・朝鮮人の遺体が茶毘に付されるのが後々になっていたことを知ります。絵では茶毘に付されず、死体は民族衣装を着たまま白骨化しており、野ざらしになっています。カラスがきています。

被爆者同士がすべて一体化し、連帯するのではなく、被爆という苦しみと悲しみの中で、予先はより弱い者、小さくされている立場の人々に向かいました。さらに被爆者の事になると後々まで続きます。

広島に原爆が投下され、他の地域に逃げて行った人々の中で、被差別部落の人々もいました。避難先で、居住地を聞かれ、答えたとたん冷たくされ、被災直後の地域に帰って行きました。その結果、開発に取り残された地域として、後々まで残りました。もう人が住んでいたので、都市計画からはずされたのでしょうか。

8月6日は本当に不思議な日です。「原爆投下の日」と主イエスの変容の日」が同じ日なのです。偶然でしょうか。「歴史の皮肉」と片付ける人もいるでしょうが、イエス・キリストが歩かれた道と重なるように思えてなりません。喜びに浸ろうとしたペトロは現実に戻され「そこに仮小屋を建てよう」と提案します。モーセとエリヤは旧約聖書のみ言葉を代表しており、主イエスの苦しみと栄光を指し示しています。

私たちの日曜日の礼拝でも、イエス・キリストの栄光(苦難、十字架、復活、昇天)などを聖餐式の中で共にし、祝

(次頁四段目へつづく)



大阪教区宣教協議会「いのちを結び・いのちを育てる」報告

一歩歩み出す時、そこに何かが起こる

司祭 アンデレ 磯 晴久

2012年7月15日(日)

午後3時から16日(月・休)午後3時まで、六甲保養荘にて、大阪教区宣教協議会が開催された。協議会の目的は、「①大阪教区の諸教会がそれぞれの宣教課題を明確にし、分かち合うため②教会が宣教共同体として、福音を宣べ伝え、福音を生きる教会へと成長し、小さなことでもいい、イエスと共に具体的な一歩を歩み出すため」であった。参加者はスタッフも合わせて79人。特に青年および教区のごうした集まりに参加するのは初めてという方が多く、将来への希望を共有する会となった。

まず、開会礼拝の中で祈りと共に「いのちを結びいのちを育てる」という今協議会主題聖句を題とするDVDが上映された。DVDは各教会に今協議会のお



土産としてお渡しした。豊かな内容なので、各教会では是非ご覧頂きたい。続いて大西修主教の「使命に生きる共同体となるために」と題する講演に耳を傾けた。主教は「小手先ではなく、原点に帰ろう」と呼びかけられ、祈り・聖書の学び・礼拝出席の大切さ、信徒の働き、協働すること、宣教とは何か、具体的な取り

組みなどについて語りかけられた。その後翌日の正午まで、5つの宣教課題「青少年・子どもの関わり」「高齢化社会を迎えて」「宣教の担い手を育てる」「礼拝と祈りの生活」「社会的少数者」の各グループに分かれ、真摯な話し合いが続き、午後には全体会が持たれ、各グループで話し合われたことを分かち合った。これらの内容については近日中に報告書が出されるので、各教会で参加者から報告を聞き、具体的な一歩を歩み出すための話し合いをして頂ければと願っている。協議会は青年たちの手による開会礼拝で終了したが、私たちは、祈りをもって神への信仰と互いの信頼関係を大切に一歩歩み出す時、そこにきっと何かが起こるといった。参加者は、11月25日午

(前頁よりつづく)
福され、肩を押され、散らされていく。そのようなものではないでしょうか。「主の変容」の聖書の箇所は、三つの福音書にあり、大斎節に入る直前に読まれます。

主のすばらしいみ姿を追い求めると同時にそこに留まるのではなく、「山から下り」ということが言われています。(なべしま もりかず・大阪聖ヨハネ教会牧師)



後に川口基督教会に再び集まり、各教会での具体的な一歩について報告をし、今後について話し合う時を持つことになっていく。(いそ はるひさ・大阪教区宣教協議会実行委員長)

主と共にあゆむ 21

祈りと共に

ダニエル 大久保 正彦



聖ルカ教会を有する社会福祉法人東光学園は、英国宣教師ジョージ・デンプセイが1916(大正5)年に日本救済団(ジャパン・レスキュー・ミッション)を組織させたこ

とに嚆矢を見ます。以来96年に亘って、児童福祉・障がい福祉・高齢福祉と多岐に及ぶニーズに対応し地域社会に貢献して参りました。英国・スコットランドで産

声をあげ、日本の東京、東北・仙台と拠点を移しながら事業を進めていく中で、2つの大きな世界大戦や風水害或いは伝染病の流行等、幾多の苦難が待ち受けていました。そう

した時先人達は、常に深い祈りと共に苦難を乗り越えてこられたのだと思います。勿論その時々スタッフが力を合わせて、知恵を出し合い、心一つにして対応されたことは言うまでもありませんが、折に触れて祈りを捧げ、主の導きを得ていたのではないかと想像するのです。その祈りの聖地である聖ルカ教会は、1932(昭和7)年、現在地(堺市)に拠点を移して最初に建設された建物(旧事務所)に最新の耐震技

術を施し、創始者デンプセイの名を冠した記念館・礼拝堂としてこの秋新たに生まれ変わります。東光学園で暮らす子ども達・お年寄り・職員全ての幸せを願って、祈りと共に与えられた使命に取組んで参ります。それが主イエス・キリストの御心に叶う働きと信じて...

(おおくぼ まさひこ・聖ルカ教会信徒、社会福祉法人東光学園 児童養護施設東光学園施設長)



思います???

言葉の乱れがとても気になる昨今です。

バベルの塔の物語を彷彿とさせ、「何でもあり」の現代を反映しているのでしょうか。

日本語の豊かさ、美しさ、奥の深さは尊敬語、謙讓語、丁寧語、そして方言などに見ることができま

では若者たちの間で次々に新造語が生み出され、また頭文字で表す省略語に至っては、わたしの知らない意味不明なものが増えています。それと呼応して、あいまいな表現がたくさんあります。その一つの例として「思います」があります。「思います」の多用は一見、優しく、耳触りのよい表現のように感じられますが、よくよく考えてみ

ますといささか変です。教会で礼拝や集会が始まる前に、「これから礼拝を始めたいと思います」「何々の会を行いたいと思います」などと言つてはいませんか。「思います」は自分の意思感情を表す言葉です。ですから「これから礼拝を始めたいと思います、よろしいでしょうか?」と問いかけていることになりま

「礼拝を始めましょう」と明確に言うのが正しい言葉使用であると思いますが、いかがでしょうか。信仰告白はもちろん、「信じたいと思います」「ではなく「信じます」「赦したいと思います」ではなく「赦します」とはっきり唱えます。これは当然のことですよ。(主教サムエル大西 修)

大阪教区 東日本大震災救援募金

2012年6月30日で終わりました。皆様のご協力に深く感謝いたします。各教会で祈りと共に届けられた募金の

最終総額は 57,609,734 円です。

第6回ペンテコステヴィジル（聖霊降臨日前夕の礼拝）

サクラファミリアに 超教派の150人が集う

聖霊降臨日前夕の礼拝「ペンテコステ ヴィジル」は5月26日（土）午後5時からサクラファミリア（カトリック大阪梅田教会）で行われ、教派を越えた150余人が集った。今年で第6回目となるこの礼拝では、松浦悟郎・カトリック大阪大司教区司教が司式にあたり、内田望司祭（日本聖公会）、井上隆昂牧師（日本基督教団）、松本義宣牧師（日本福音ルーテル教会）、吉岡秀紀神父（カトリック大阪大司教区）が補式を務められた。

礼拝は入祭の歌「風がどこから」から始まり、聖書の朗読のあと、大西修・日本聖公会大阪教区主教が説教された。大西主教は「聖霊の降臨によって、そこにいた人々が一つにされ、教会の働き



から、「被災者の方々のために祈り続け、いまま祈り続けており、聖霊の働きを信じている」と結ばれた。

（説教の要約は別項）

が始められた。聖霊の働きはダイナミックであり、キリスト者に愛の炎を燃え立たせ、また「思い起こさせるもの」として私たちが主イエスに繋ぎとめる」と諭され、さらに東日本大震災に思いをはせな

大西 修 主教の説教要旨

ペンテコステ（聖霊降臨日）はキリスト教にとってクリスマス、イースターと並ぶ3大祝日の一つであり、聖霊降臨があつてはじめてクリスマス

から、「被災者の方々のために祈り続け、いまま祈り続けており、聖霊の働きを信じている」と結ばれた。

とイエスターの意味が明らかになる。聖霊が降ることによって、そこにいた人々が一つの共同体とされ、教会の具体的な宣教活動が始められた。そのためペンテコステは「教会の誕生日」とされている。「霊」にはもともと「息」とか「風」の意味があり、「命」や「生命」に関わるものだが、「聖霊」は「神の息吹」として「人を生かす」ものである。主イエスの昇天で意気消沈していた弟子たちが心を合わせ

の輪が広がった。

なお、公式の礼拝参加者数は152人。教派別では聖公会が49人で一番多く、以下、カトリック44人、日本基督教団28人、日本ルーテル教会14人など。仏教の僧侶1人も参加。

また、礼拝での献金15万8633円（振込手数料込み）は「あしなが育英基金 東日本大地震・津波遺児募金」に送られた。（編集部）

て祈っていたとき、聖霊は主イエスを思い起こさせ、弟子たちを現実の働きに雄々しく立ち向かわせたのだった。聖霊の働きはダイナミックで人格的なものであり、人と人との一致を妨げるものを取り除き、障害から人々を解放し、新しく作り直すものである。また聖霊は「弁護者」「真理の霊」とも呼ばれ、「一致の源」「キリスト者に愛の炎を燃え立たせるもの」「正しい判断と指導を与えるもの」であり、私たちは聖霊を「すべてのことを教える教師」として信頼する。また聖霊は「思い起こさせるもの」であり、私

たちを主イエスに繋ぎ留める。聖霊は今も教会の中で大きく働いておられ、私たちの信仰の炎を一層燃え立たせ、また神のご意志を指し示し、病を癒し、私たちの祈りの中に共にいてくださる。昨年

の東日本大震災に私たちは大いに驚いたが、同時に私たちは何を、どうすべきか、考えさせられた。東北の方々が大きな苦難の中にあるとき、私たちは聖霊の働きを信じ、祈り続けてきたし、今も祈り続けている。

辛い思いの中、神は聖霊を通して私たちに強め、大切な一つの事に皆が目を向けることが出来るように働きかけ、力を与えてくださる。聖霊は主を愛し、み言葉を守る人たちの所に来られ、そして今、この場に聖霊が働いておられることを信じる。

私たちが与えられた所に歩んでいくとき、神が私たちを押し出し、私たちに何をすべきかを示される。また一人ひとりが違った賜物を持って、他の人と違う働き、自分しか出来ない働きの示されるのではないだろうか。



京都・大阪教区合同教役者修養会報告
「生命倫理」について学ぶ

執事 ジョイ 千松 清美

6月26日(火)～28日(木)
 京都・大阪教区合同教役者修養会が、ホテルコスモスクエア国際交流センターにて行われた。部分参加も含め京都教区21人、大阪教区16人の教役者が参加した。今回は、関西学院大学神学部教授土井健司先生を招いて「生命倫理について」の講演会をもった。

土井健司先生の講演は二部構成で、一部はキリスト者として生命倫理問題がどのように考えられているか、歴史をおって説明され、二部では「脳死」・「脳死からの臓器提供」について、実際の事例を挙げながら、土井先生が考える問題点を提示された。そして、講演を聴いた私たちに「脳死は人の死か」、「レシピアントとドナーの立場」等をどのように受けとめて、自分の考えを明確にしていくのかを問われる内容のものであった。私自身は初めて聴く事ばかりで、提示された多くの問題点や考慮する点があまりに難解なため、しっかりと受けとめることができなかつた。しかし、これからの教会生活の中でおそらく実際に、身近に直面する問題であると認識し、私のこれからの課題であると考えられる機会を得た。修養会では講演会のほかに、両教区の情報交換、特に「合併および協働に関する検討委員会」のこれまでの話し合いの報告が行われた。また一日人事交流の意義を教会の皆様へアピールし、両教区全体の良い交わりの時として用いられることが大切であると話し合われた。(せんまつ きよみ・西宮聖ペテロ教会牧師補)

聖公会生野センター20周年を迎えて
20年を振り返りこれからを考える

呉 光現 オ クワンヒョン

6月17日の主日の午後、聖公会生野センターの母教会とも言える聖ガブリエル教会で20周年を振り返り、今後を考える集いもたれた。参加者は約50人で礼拝堂が満員になったのは嬉しい限りである。

パネルディスカッションの発言者は井田泉司祭(京都教区)、木村幸夫司祭(大阪教区)、林永寅司祭(京都教区宣教協働者)、中村香氏(神戸教区)の4人(写



真左から右へ)。日韓と在日の歴史、聖公会生野センターの運営委員長の時代、韓国での社会宣教と日本での生活を通して、韓国在住の経験から、と4人それぞれ

情報が交換、特に「合併および協働に関する検討委員会」のこれまでの話し合いの報告が行われた。また一日人事交流の意義を教会の皆様へアピールし、両教区全体の良い交わりの時として用いられることが大切であると話し合われた。(せんまつ きよみ・西宮聖ペテロ教会牧師補)

在日にこだわらる、聖公会の思いを大切に、弱くされている人々と共に地域で働く、そして韓日の架け橋、そんな働きを聖公会生野センターはしてきたんだなあ、この20年を思った。

聖ガブリエル教会の創設者の張本栄司祭の教籍簿がある奈良基督教会、管区・教区・教会をあげて支えてきた聖公会の祈りと働き、社会宣教は「対象」ではなく「主体」となって人々が立ち上がるミッションであること、韓国生活というものが辛くても、人々との情があふれた共同体であることなどは「20年」という時間ではくれないものであるが、神様に導かれ、そして全聖公会の祈りと関わりによって打ち立てられた聖公会生野センターのこれからの道を示してくれたと思う。20年を感謝すると共にこれからの20年を思っていていきたい。

(聖公会生野センター総主事)



金沢聖ヨハネ教会

今年の冬、北陸ではたくさん雪が降りました。天気予報の雪マークを確認して、明け方におそろおそろ外を確認するのが冬の日課です。少し大げさに書きましたが、どかっ

と雪が積もるのは年数回。冬はブリヤカニ、夏は岩ガキ、春はホタルイカや白エビなど海の幸と、おいしいお酒に恵まれた日本海側で、富山は教区の最北端、その次に金沢と続きます。あっとい間に6年が過ぎ、お腹周りも成長してしまっただけ私ですが、実は小学校入学まで、近鉄布施駅から徒歩10分程の所に住んでいましたし、母と姉はプール学院中高でお世話になりましたので、大阪教区とのつながりを感じています。

金沢には(福)聖ヨハネ会があり、双葉保育園、双葉第二保育園(夜間)、聖ヨハネ乳児保育園、しお子どもの家、しお児童クラブと5つの施設を運営しています。富山

京都教区との協働を目指して 聖職と教会紹介 11

金沢、富山で地域に根ざした宣教を

司祭 エッセイ 矢萩 新一

には(福)聖マリア会の富山聖マリア保育園、富山市民病院院内保育所、特養・常楽園の3つの施設があります。決して多くはない信徒数ですが、園長や施設長、職員として関わりながら、施設を支えています。私が富山へ行くのは月1回、他の主日や平日は谷市三伝道師がいて下さり、み言



司祭バルナバ 小林 聡

葉の礼拝を信徒が交代で司式しています。クリスマスやイースター、その他の礼拝には、いろんな教役者が奉仕して下さいます。今年3月に新しい園舎が与えられた保育園、教会も5年前に新築したばかりです。金沢は3年後の教会建築を目指して歩み出したばかりです。これからも、子どもたちや高齢者への宣教、地域に根ざした宣教の器として歩んで行ければと思います。(やはぎ しんいち・金沢聖ヨハネ教会牧師、富山聖マリア教会管理牧師)

私は奈良県にありますが高田基督教会で育てられ、京都教区の教育部の活動に参加して、信仰の仲間に出会い刺激を受けて、1999年に聖公会神学院に入学しました。94年に卒業し、京都聖ヨハネ教会、桑名エピファニー教会に勤務、2年間英国や他の管区で学びの時を持ち、京都聖ステパノ

教会、平安女学院中高チャプレン、大津聖マリア教会を経て、現在福井聖三一教会牧師、敦賀基督教会管理牧師、併設の幼稚園チャプレン、保育園に関わらせて頂いております。福井聖三一教会は、1896年に、福井市宝永中町に講義所が設置されたことに始まります。1916年に春山小

学校跡地である現在地に移転し、1931年に聖堂を建てました。この聖堂は戦前・戦後の幾多の災害を生き抜いた数少ない貴重な建物と言われています。また聖三一幼稚園が建てられて今年で83年目を迎え、地域の幼児教育に仕える働きをしてきました。

敦賀基督教会は北陸伝道の要衝の地に建つ教会として、幾多の試練を乗り越えながら、今毎週4人の信徒さんが礼拝を守っています。併設されている晴明保育園は地域の保育を担い、子どもたちにとって生きることの難しい時代にあつて、神さまの愛情を伝えるキリスト教保育を続けています。

私は初めての北陸の地で2年目も半年を迎えようとしています。東日本大震災以後の日本は、原発事故後の在り方が問われています。日本一多い原発立地県での宣教課題は、特に子どもたちの今と未来を見据えたものでなければと思っております。(こばやし さとし・福井聖三一教会牧師、敦賀基督教会牧師)

沖縄の旅に参加して

司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞

「沖縄の旅 命どう宝くわ
たしたちが頼るべきもの」
6月22日(金)〜25日(月)
に参加しました。

那覇空港で参加者が集うと
すぐにバスで「基地を望む」
フィールドトリップに出発、
陸海空の自衛隊基地と共用状
態の那覇空港を瀬長島から望
み、高速道路を通って嘉手納
基地の西側、砂辺地区を見学、
そして「安保の丘」から嘉手

納基地を見ました。「沖縄慰
霊の日」の前日だからか、米
軍機はほとんど飛ばず、「す
さまじい爆音」を覚悟してき
た者には拍子抜けでしたが、
どこも鉄条網に囲まれ、米兵
用住宅と彼らの車(ナンバー
プレートの仮名部分がYなの
で判別できる)、そして防衛
施設庁の看板など、日常の暮
らしの中に当たり前に侵入し
ている「戦争の色」に震えを
覚えるほどでした。夜



平和行進 第3ポイントでの「平和への祈り」
(2012年6月23日平和行進)

は教区センターで「復
帰40年の沖縄の現状と
教科書問題」と題する
高島伸欣氏(琉球大学
名誉教授)の講演を聴
きました。中身の濃い
お話で、通り一遍の沖
縄理解であったわたし
を根底から覆すお話で
した。
2日目はちょうど
「沖縄慰霊の日」、沖縄
全県が慰霊の日として
全力全神経を集中する

日です。わたしたちも「日本
聖公会平和行進」、「憲法9条
を守れ」というのぼりを掲げ
ながら、小禄聖マタイ教会か
ら南部の海岸の「魂魄の塔」
まで約16kmを歩きました。途
中3箇所で証言を聞き、祈り
の時を持ちながらの、アップ
ダウンの道は伴走車で支援し
てもらったの厳しい道のりで
したが、67年前の必死の逃避
行を思うと、何でもないと自
分に言い聞かせながらの行進
でした。朝9時から13時過ぎ
まで歩き続けてやっと海岸に
出、紺碧の海、涼しい海風に、
「やったー」と喜びの声を上

げかけたのですが、67年前は
この海が軍艦で埋まり、艦砲
射撃に脅かされていたことを
思い出すと、笑顔も引きつっ
てしまいました。最後に海岸
で聖歌4・2・3番を共に歌い
「平和への祈り」をささげま
した。魂魄の塔には、たくさ
んの人々が集って、それぞれ
に祈りをささげていたのが非
常に印象的でした。24日の主
日礼拝のあとは、北谷諸魂教
会での「沖縄教区慰霊の日礼
拝」に出席しました。

最後の夜は聖マタイ教会で
交流会、そして最後の日の朝
は分かち合いと閉会礼拝でこ
の旅を終えました。帰途、那
覇空港で自衛隊戦闘機2機の
タッチアンドゴーの訓練飛行
とそのために待機している民
間機を目の当たりにして、沖
縄の置かれている厳しい状況
に心痛み、それだけに余計に
沖縄教区の人々の心の温かさ
が胸に突き刺さりました。
この「沖縄の旅」企画は今
後も続くことでしょう。決し
て楽しい観光旅行ではありませんが、大阪教区からは必ず
誰かが参加するようにして欲
しいものだと思います。
(やまもと まこと・芦屋聖
マルコ教会牧師)

大阪教区英語礼拝

なんという恵み

3人の外国人司祭が一同に集う！



大阪聖パウロ教
会では、毎月第4
日曜日、午後4時
から、英語礼拝(聖
餐式)を開催して
います。神戸のマ
リナーズセンター
にある「ミッショ
ンズ・トゥ・シー
フェアラーズ(船
員宣教会)から、
定期的にジョン・
バーク司祭(英国

聖公会)が来てくださり、聖
餐式を行っています。
7月22日(日)はジョン・
バーク司祭の他に日本に來日
中のバーナード・オリビエ司
祭(英国聖公会・カンタベリ
ー管区ロンドン教区)、ガー
ナ出身で滞日中のジェネシ
ス・オダム司祭(西アフリカ
管区ケープ・コースト教区)
が來会され、3名の外国人司
祭が礼拝奉仕された。(編集部)

日本聖公会婦人会 第23(定期)総会後第2回会長会開かれる

マーガレット 岡野 美智子

台風4号東海地方直撃の気

象ニュースが流れる6月19日(火)〜20日(水)、横浜教区主教座聖堂(横浜聖アンデレ教会)にて会長会が開かれ、宇野喜句子会長の代わりとして副会長と傍聴者の澤田節子さん(大阪教区婦人会代表者)の二人で出席しました。幸い夜半から未明に通過した台風の影響は殆どなかったものの、沖縄では飛行機が飛ばず、そのため沖縄教区は不参加となりました。

午後1時から開会礼拝が始まり、三鍋裕主教様が「なぜ今さら婦人会が別枠であるのか」と言う意見もあるが、婦人会の働きは教会内での味と重みを備えている。教会内また地域での交わりの中心は女性である。過ぎ去った日々を思い、未来へつなげて行きたい」と述べられ、日本聖公会婦人会の100年以上も続く歴史の重みとお働きを思い、改めて感謝の気持ちを献げた

いと思われました。

提出された議案はそれぞれ可決され、特に「感謝箱献金事務局」が京都教区から横浜教区へ移転となり、運営委員長は井上美津さん(大阪教区)に代わって古谷美子さん(横浜教区)が承認されました。事務局スタッフも井田涼子さん、篠田茜さん(ともに京都教区)に代わって猿渡友佳さん、光益かおるさん(ともに横浜教区)が承認され、前任スタッフの任期の残余期間を引き継ぎ、新旧バトンタッチして新しいスタートを切ることになりました。

世界の窓

○カンタベリー大主教、「平和のみが選

択肢」と宣言
南スーダンの独立1周年に際し、カンタベリー大主教は「平和のみがスーダンと南スーダンの選択肢である」と警告した。大主教は独立1周年にあたり、南スーダンとスーダンの関係改善に緊急な取り組みを要すると訴えている。また、この平和への願いを、アングリカ

ンとカトリックの天主(司)ん、光益かおるさん(ともに横浜教区)が承認され、前任スタッフの任期の残余期間を引き継ぎ、新旧バトンタッチして新しいスタートを切ることになりました。

各教区婦人会の熱い思いを話し合い、2日間の会議は幕を閉じました。横浜教区の皆様の心のこもったご奉仕とおもてなしに感謝し、明日への歩みに繋げて行きたいと思えます。(おかの みちこ・大阪教区婦人会副会長)

教が、共働して共に訴える必要性を強調している。さらに、現在の両国の軋轢が両国の共倒れを招く不幸を憂いつつ、スーダンの教会が2国の国民に互いの平和を求めさせるように働きかけることを勧めている。そして、互いに神に与えられた資源を最善の方法で使いながら、両国民が団結し、お互いに尊敬しあう関係を構築すべきであると述べている。(Anglican Communion News Service: July 6, 2012)

『大阪教区報』頒布価格改訂のお願い

長年、教区会を中心に、説明や質問において指摘されてきた懸案、大阪教区報の発行に要する会計支出における大幅な支出超過の課題に対し、他の教区の教区報に関する諸要件(購読料、紙面数、発行回数など)をも検討した上で、次のようにいたします。ご理解を願います。

①頒布価格を1部60円(現在30円)とする。

②発行に要する経費の削減に引き続き全力を挙げる。

この懸案は、一昨年から継続して検討されてきましたが、今年になって、まず、財務委員会と広報委員会が意見交換し、常置委員会の承認を得て、上記のように決定いたしました。今回の頒布価格改定(値上げ)後も、各教会等においては、購読部数を維持してくださいませよう、お願いいたします。購読部数が減ると、収支健全化の効果が薄れます。(教務局)

○ユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラム教徒の協働による環境保護を目指して

環境に優しい生活のためのハンドブック、『エデンを共有するために』が刊行された。これは英国のユダヤ教、キリスト教、イスラム教の環境問題専門家が共に著した本で、アブラハムの信仰の教えを使いながら、全ての人のために環境保護的生活を奨励するという稀なものとなっている。ウエストミンスター・アビーでの礼拝の祈りの中で、ダライラマが「宗教者達が環境問

題の責任を負わなければならない。ことに4500万人を超える英国のユダヤ教徒、キリスト教徒、イスラム教徒が各々の共同体の中で環境保護を推進し、さらなる環境への働きに従事することが重要である」と強調した言葉が引き金となり、このハンドブックが刊行された。本の内容は、各々の宗教的教えを通して示された、環境保護に関する啓蒙的なものとなっている。(Anglican Communion News Service - Digest News: July 9, 2012)

2012年 日本聖公会大阪教区

教区礼拝

聖餐式

9月30日(日)10時30分～

(聖霊降臨後第18主日)

プール学院清心館(JR環状線桃谷下車)

司式：大阪教区 主教 サムエル 大西 修 師父

説教：東北教区 司祭 フランシス 長谷川清純 師



希望の道とともに歩もう!

教区礼拝後の講演会

放射能汚染下の暮らしーチェルノブイリから考える

講師：河田 昌東さん (NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事)

日本聖公会大阪教区 宣教部

著書「チェルノブイリの菜の花畑から放射能汚染下の地域復興」、「チェルノブイリと福島」ほか

◆プロフィール
専門は分子生物学・環境科学。名古屋大学理学部理学研究科博士課程修了。名古屋大学理学部、四日市大学環境情報学部等で教鞭をとる。四日市公害、三重県藤原町セメント公害裁判、原発反対市民運動、チェルノブイリや福島などの原発事故被災者の支援など多くの社会運動に関わる。

福島原発事故の問題点や今後の私たちの生き方、対処方法など生活に根差して分かりやすく語って下します。
放射能汚染の中で暮らしている人々と共に課題を分かち合い、キリスト者として今後の日本のあり方を考えるために、是非、ご来聴ください。

教区礼拝聖歌隊の呼びかけ

昨年と同様に、教区礼拝の聖歌隊を募集いたします。会衆と共に聖歌を歌っていただくだけでなく、聖歌隊のアンセムをお献げしたいと思います。聖歌隊の責任者の方は、下記の川村兄までお知らせください。

◆アンセムとしては次の3曲を予定しています。

The Lord Bless You and Keep you

『新しい歌を 主に歌おう』

『こすずめ』(God of the Sparrow, God of the Whale)

アンセムの楽譜は、所属教会または代表者に一部ずつお渡します。

楽譜ご希望の方は、川村輝夫聖歌隊長まで。

◆礼拝で歌う聖歌は、389、483、508、477、478です。

練習予定：9月1日(土)午後6:30～

：大阪聖パウロ教会

9月15日(土)午後6:30～

：大阪聖パウロ教会

9月29日(土)午後2:00～

：プール学院清心館

大阪教区教区礼拝

式典長 司祭 岩城 聡

聖歌隊長 川村輝夫(石橋聖トマス教会)

TEL:072-751-3774、携帯:080-5703-4457

e-mail: teru-mako@wombat.zaq.ne.jp

教 区 の 動 き

常置委員会報告

6月6日(第8回定例会)

I. 協議事項

*東豊中聖ミカエル教会より信徒奉事者の推薦があり、ルツ森中みよ子・モーセ山田譲を、信徒奉事者として主教に推挙した。

*納骨堂設置許可取得に要する費用の教区及び教会分担案を承認。

教区と各教会が総額を折半する。但し教区負担は10万円を限度。

*今年4月人事異動に伴う2012年度教区費分担額の補正案を承認。

*「大阪教区報」頒布価格を現行の一部30円から60円に改定することを承認。

*大阪教区成立90周年記念実行委員会を設置し記念礼拝、事業、年表、パンフレット等を検討する。第一回委員

会開催予定 7/17。

実行委員長 大西主教、実行委員・山本真司祭、佐野信三兄、千松執事(書記)、井上司祭(礼拝)、竹林司祭(年表)、義平聖職候補生(パンフレット)。

7月18日(第9回定例会)

I. 主教報告

*林正樹執事から司祭志願書と司祭推薦書(6/10)を受理した。9/4(火) 6(木)管区司祭試験。

*大阪・京都教区合同教役者会を開催。大阪16名、京都22名、計38名が参加。

*7/16(月)九州教区主教選挙で武藤謙一司祭(横浜教区・57歳)が選出された。

*成岡宏晃神学生の教区での夏期実習は聖愛教会及び聖三一教会(8/18、9/2)。

II. その他報告事項

*大阪教区教区礼拝「希望の道をともに歩もう」9月30日(日)10:30、プール学院清心館。

*聖ルカ教会礼拝堂の件

社会福祉法人東光学園は旧事務所棟を改築し、「デンブセイ記念館」と称し、聖ルカ教会礼拝堂・ベストリー及び教会の会議室を設置した。

III. 協議事項

*2013年度教区費分担金について。管区総会決議に従い13年度は200万のアップ(3600万→3800万)を前提に分担金案の提示があり協議。

*主教館・教区館外装補修工事の業者選定について協議。

*東北教区主教座聖堂建築募金は教区内各教会から631,318円が寄せられ、東日本大震災募金からの支援を含めて150万円を献げる。

以上

神学生を囲むつどい

皆さんの神学生を知ってください!



フランチェスコ 成岡 宏晃氏

大阪聖アンデレ教会出身
聖公会神学院在学中

日時: 2012年8月26日(日)
午後3時~4時30分

場所: 大阪聖アンデレ教会
御堂筋線昭和町から南へ徒歩5分
駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。



会費無料

主催: 大阪教区神学生後援会

大阪教区婦人会

秋の修養会

日時: 10月17日(水) 13:00~

場所: 大阪聖愛教会

講師: シスター ^{たかき よしこ} 高木 慶子さん

テーマ: 悲しみに寄り添う
(ターミナルケアとグリーフケア)

※ 婦人会主催ですが、男性にも積極的な参加をお願いいたします。

主催: 大阪教区婦人会



○尼崎聖ステパノ教会

リタ 尾崎 華

(6月17日)

○芦屋聖マルコ教会

アグネス 碓井 蘭
エステル 碓井 心
サラ 三富 沙良
ベタニヤのマリア

ドルカス

(7月15日)

○大阪聖アンデレ教会

ペテロ 井上 浩行
エリザベス 井上 綾子

(6月10日)

○尼崎聖ステパノ教会

リタ 尾崎 華

(6月17日)

○芦屋聖マルコ教会

ベタニヤのマリア
ドルカス 碓井 桂

(7月15日)

公 示

救主降生 2012年6月6日
日本聖公会大阪教区主教
主教 アンデレ 大西 修

2012年7月1日付で、以下の人事を発令します。

司祭 ヨハネ 木村 幸夫

聖テモテ・ボランティアセンター（東北教区小名浜聖テモテ教会内）の現地調整者として勤務することを委嘱する。ただし、任期を日本聖公会「いっしょに歩こう！プロジェクト」が期間満了する2013年5月までとする。

上記に伴い、大阪城南キリスト教会における主日を中心とする勤務（2012年3月18日付公示による）を解く。

魂の平安を祈ります

○大阪聖パウロ教会

モニカ 梶原 冴子

(3月21日・84歳)

○恵我之荘聖マタイ教会

アブラハム 栗井 豊明

(5月10日・67歳)

○西宮聖ペテロ教会

パウロ 山下 敏彦

(5月25日・95歳)

○堺聖テモテ教会

デミトリアス 田村 秀雄

(5月25日・83歳)

○大阪聖ヨハネ教会

シモン 藤岡 陽一

(6月1日・80歳)

○聖贖主教会

ヨセフ 田村 純朗

(6月4日・77歳)

○大阪聖アンデレ教会

グレース 松尾真理子

(6月9日・46歳)

○大阪聖愛教会

浅野 俊郎

(7月2日・76歳)

教会・施設の動き

主教座聖堂より

○9月より、教区教役者逝去記念聖餐式は、午前10時半の開始となります。聖餐式後は茶菓を囲みでの交わりとなり、昼食の準備はなくなりませのでご了承ください。9月の日程は12日(水)です。

尼崎聖ステパノ教会

○8月26日(日) 12時～15時、ステパノ夏祭り。

大阪聖ヨハネ教会

○聖ヨハネ教会キャンプ
毎年、聖ヨハネ学園園児・園生及び職員を招待して、キャンプをします。今年は8月5日(日)～6日(月)に、場所を変えてロッジ舞洲で行います。ひと夏の思い出を越えて、神様への信頼に向かうものとして過ごしたい。今年の主題は「ともに集まろう、ともに歌おう」。

高槻聖マリア教会

○7月1日(日)、野宿者ネットワーク代表の生田武志氏が来会され、お話し頂きました。
○7月21日(土)～23日(月) 北小松での教会キャンプを行いました。

プール学院

○8月21日～23日、聖公会関係学校教職員研修会(於ANAクラウンプラザホテル

聖ミカエルおよび諸天使の日

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 9月12日 (水) 10:30～

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者：アンデレ 田宮 紘執事

- 4日 執 事 ラザロ 布施 好古 (1938)
- 6日 主 教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945)
- 9日 司 祭 ジェームズ・J・チャプマン (1946 英)
- 11日 司 祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド(1941 英)
- 12日 主 教 ヘンリー・エヴァントン (1912 英)
- 14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイilson(1963 英)
- 23日 主 教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973)
- 司 祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000 米)
- 25日 司 祭 田中 正之助 (1927)
- 27日 宣教師 エルシー・メイ・ベイカー (1977 英)

◇ 10月10日 (水) 10:30～

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者：ウイリアムス 竹内信義司祭

- 2日 司 祭 ジョージ・チャプマン (1940 英)
- 9日 主 教 ヨハネ 山田 襄 (1993)
- 12日 司 祭 マルコ 岡 精三 (1997)
- 16日 主 教 ペテロ 松井 米太郎 (1946)
- 主 教 サムエル・ヘーズレット (1947 英)
- 18日 司 祭 ステパノ 木庭 孫彦 (1928)
- 20日 司 祭 チャールズ・セオドア・ワレン (1949 英)
- 23日 司 祭 ステパノ 遠藤 敏雄 (1971)
- 24日 司 祭 深田 直太郎 (1945)
- 司 祭 ペテロ 横田 久明 (1995)
- 25日 宣教師 イブリン・アリス・レーン (1971 英)
- 29日 司 祭 セオドシアス・ステファンズ・テイング(1927 英)

* 教役者逝去記念聖餐式は、9月より、毎月第2水曜日
午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご
関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご出席くださ
い。なお、昼食の準備はなく、茶菓のみの提供となり
ます。

次号・第427号 発行予定 10月21日(日)

神戸)。これには、プール学
院の中高、大学チャプレン、
桃山学院の中高、大学チャ
プレンが出席します。

桃山学院高校

○高校2年生(760人在籍)
は、期末考査後の7月初旬
行き先別の校外活動に出か
けた。北海道、沖縄のほか、
カナダへの短期研修や国際
コースの短期留学期もある。
中高一貫の第1期生3クラ

○高校ハンドボール部、水泳

部は、今年もインターハイ
に出場、好成績が期待され
ている。硬式野球部は上宮
高校との1回戦に臨むが、
そのクラブも聖アンデレ教
会で壮行礼拝をささげた。

お詫びと訂正

大阪教区報第425号に、
以下の間違いがありました。
訂正してお詫びいたします。

※5頁 1段目2行目

(誤) コレヘト↓
(正) コヘレト

※10頁 1段11行目

(誤) 東日本大震災被災者↓
(正) 東日本大震災被災者

※11頁 4段4行目

(誤) 大阪城南教会↓
(正) 大阪城南キリスト教会

※12頁 12段11行目
(誤) 午後2時分より↓
(正) 午後2時より

編集後記

暑中お見舞い申しあげます。
大阪教区報(第426号)
をお届けします。夏から秋に
かけて、多彩な行事が計画さ
れています。どうぞ天候に恵

まれ、安全の内に業を終えら
れますようにお祈りいたしま
す。
各教会、学校、施設からの
掲載希望がありましたら編集
部までお問い合わせください。

※12頁 逝去者記念聖餐式
21行目 主教マルコ小池俊男
(誤) 2010.7.28 ↓
(正) 2011.7.28